

競技の進め方やルール

組合せと対戦場所

1. 対戦場所・試合時間・ホールの座席位置は決められています。プログラムで確認してください。

ルール

1. 1試合の時間は、予選リーグは8分間、決勝リーグは5分間です。
2. 競技者は向い合せに、横に並んで座ります。100枚のかるた札を50枚ずつに分けてチームの持ち札とし、3列に並べます。
3. 暗記時間は1分間です。札の位置をしっかりと頭に入れましょう。
4. 始めのあいさつをして、よみ手の声に従って札を取ります。次の札の上の句をよむまでは、お尻をかかどにつけて、手は膝に置きます。
5. 札を取る時は両手を使わないでください。また、よまれた札や周辺の札を、大きく飛ばさないようにしてください。
6. 相手チームの札を取ったときは、自陣の札を相手チームへおくります。
7. お手つきをすると、相手チームからお手つきの回数分の札がおくられます。
8. 試合が早く終了した場合は、他のチームが競技しているので、静かにその場で待機してください。
9. “終了”の合図の後、直ぐに手を膝に置きます。札には触らないでください。
10. 審判が枚数を確認します。席を離れないでください。自陣の札が少ない方が勝ちとなります(取った数ではありません)。
11. 確認が終わったら、審判が試合の結果を話して、終りのあいさつをします。

※自陣の札の配置を途中で変えるときは、相手に伝えてください。

※会場の広さの関係で、一つの試合に多くの面積を取ることができません。そのため、競技かるた(百人一首)のような激しい取り方をしないでください。

※参加チームの数によって、一人の審判が複数の試合を見る場合があります。そのため、競技者は審判の判断に頼らないように、フェアな態度で札のやり取りをしてください。

かるた札のよみ方

1. 最初によむ札は、練習なので取らないでください。
2. よみ手は上の句をよみ、続けて下の句をよみます。
3. 札を取るまで、下の句をくりかえします。
4. 次の札に進む時は、前の札の下の句をよんでから、新しい札をよみます。

予選について

1. 予選は、1回戦、2回戦、3回戦の内、どのチームも2試合行います。そのため、1回戦と2回戦で待機するチームは、移動アナウンスの後、ステージ右そでへ移動して待機してください。2試合を終えたチームは、階段を使用せずに、ステージの左から席に戻ってください。
2. ブロック内の順位
 - ① **勝数の多いチーム**が上位となります。
 - ② **勝数が同じチームがある場合は、引き分け数の多いチーム**が上位となります。
 - ③ **勝数と引き分け数が同じチームがある場合は、合計枚数(残数)の少ないチーム**が上位となります。
 - ④ ③において、**合計枚数(残数)が同じチームがある場合は、直接対決したチームとの枚数の少ないチーム**が上位となります。
 - ⑤ ④において、**直接対決したチームとの枚数が同じ場合、また直接対決がない場合は、代表者によるジャンケンで勝ったチーム**が上位となります。
 - ⑥ **棄権及び不戦勝のチームの残枚数は50枚**となります。
【例】(棄権チーム 50ー50 対戦チーム)

競技者の代理について

1. 申し込んだ競技者が急病などで来ることができなくなり、代わりの人が試合に出る場合は、試合前に係に申し出てください。ただし、代わりの人が他部門に参加する場合、そのチームは予選には参加できますが、決勝トーナメントに進むことはできません。注意してください。